

オール佐倉でさらなる躍進！さらなる前進！

にした さんご

西田 三十五 市政レポート

2025
夏



市民の皆さんとのお約束を次々実現！

<詳しくは裏面をご覧ください。>



明日を担うこどもたちのため、
物価高騰対策、地域の安全対策などに全力で取り組み、
市民の安全・安心を守ってまいります。

佐倉市長 西田 三十五

SAKURA TOPICS

ありがとう長嶋茂雄さん。たくさんの夢と希望をいただき感謝。

想いを未来へつなぐ —— 誰からも愛されたミスタープロ野球 長嶋茂雄さんのレガシーをこどもたちへ

3



6月3日、佐倉市名誉市民であり、私たち佐倉市民にとってかけがえのない存在である、長嶋茂雄氏をご逝去されました。

ミスタープロ野球として日本中に夢と希望を与えてきた長嶋氏。佐倉市では、平成26年から長年にわたり長嶋茂雄少年野球教室を開催いただき、野球少年・少女たちに直接の熱血指導や熱いメッセージをお寄せいただきました。今後、開催される長嶋茂雄少年野球教室などの機会と併せ、これまでの感謝と、長嶋氏の想いを若い世代に伝えていくための取組みを、これからも続けてまいります。



「これからも咲く、佐倉」今後の取組み



物価高騰でも、助け合い、誰もが暮らしやすいまちを目指して！

市民の皆さんの暮らしを支えるpaypayなどポイント還元事業を再び！

10%ポイント還元(上限5,000円)で、家計を応援します。令和7年秋頃開始予定です。

物価高騰が直撃している介護施設・障がい者施設、公共交通事業者や農業従事者を大応援！

市民の皆さんの大切な移動手段を支える公共交通事業者や、高騰分を価格転嫁できない介護施設・障がい者施設の皆さん、地域の農業従事者の方々を支援します。小・中学校給食の主食(米とパン)の公費調達も、継続中です。

未来ある子どもたちは佐倉の宝「こどもどまんなか」で全力応援！

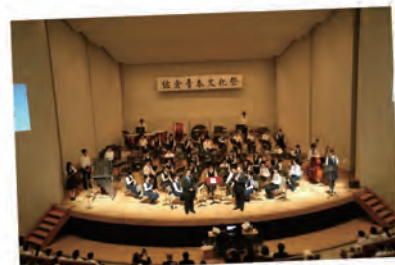
教育施策推進室を新たに設置。教育施策のさらなる前進！

英語教育の充実や不登校支援など、多様な子育て環境を整備します。

「佐倉青春文化祭」の継続 ～70周年レガシー～

子どもたちが輝く場を確保！

子ども・若者の活躍の場を今年も秋に開催します。子どもたちの才能開花へ！
子どもたちのパワーで大人も元気をもらいましょう。



▲佐倉青春文化祭

伝えたい平和の大切さ 戦後80周年記念事業を実施！

戦争の記憶と平和への想いを未来に継承！

長崎市の鈴木史朗市長による講演のほか、事業連携している茨城県阿見町の予科練平和記念館の紹介など、中高生と保護者の皆さんを対象とした平和祈念講演会を秋に開催予定です。『この世界の片隅に』の原作者で広島市出身の「この史代」展も開催します。(8月2日(土)～10月2日(木)：佐倉市立美術館！…GC)

成田空港の機能拡張を見据えた様々な取組みを推進！

新規事業「市内不動産情報とのマッチング事業」を開始！

佐倉への進出を考える企業のニーズに応じた情報を迅速に提供します。
インターチェンジ周辺の産業系土地利用の基準を緩和し、企業進出も促進します。
誰もが魅力的な仕事に就ける佐倉市を目指します。

国道51号神門交差点 ついに国が予算化！

働きかけがようやく実を結び、4車線化に向けて大きく前進！

令和7年度、ついに国において2,000万円の予算が計上され、
まずは神門交差点右折レーンの調査設計を実施します。成田空港への
重要道路である国道51号の拡張、4車線化に向けて、引き続き取り組みます。



▲平和使節団同行

人の流れを生み出し、関係人口を増加！定住促進へ！

佐倉ふるさと広場をより魅力ある場所へ進化！

印旛沼は千葉うみさとラインのスタート地点です。ふるさと広場を拡張整備中！
令和10年度完成予定です。市民花火大会は10月に分散開催！
いつもより近い場所で、佐倉の花火をお楽しみください。



▲飯野竜神橋から印旛沼を望む

佐倉ハーモニーホールのストリートオルガン“サーター”が
人気番組「開運！なんでも鑑定団」に登場！

4月1日放送のテレビ東京 なんでも鑑定団で、佐倉ハーモニーホール(市民音楽ホール)の
ストリートオルガン“サーター”が紹介され、鑑定額は驚きの1,500万円！
定期的にホールのエントランスで演奏会を開くなど、佐倉の魅力を全国に発信します。



▲開運！なんでも鑑定団

災害に強く犯罪の少ない安全なまちに！

治安の良いまちづくりをみんなで目指そう！

家庭用の防犯カメラや人感センサーに2万円を補助します。
自分たちのまちは自分たちで守る。元気にあいさつ！犯罪に強いまちへ！

備えあれば憂い無し。気候変動対策「田んぼダム」の協力を感謝！
オール佐倉で防災！減災！

田んぼダムの取組みは、国土交通省にも認定されている飯田環境保全会に加え、
今年度から大佐倉地区でもスタートします。
大雨災害を軽減する農家の皆さんと共に、さらにこの輪を広げてまいります。



▲田んぼダム視察

